



3Rイニシアティブの 推進について

平成17年11月15日

環 境 省

1. 3Rイニシアティブ全体の進め方

3Rイニシアティブの概要

- ◆ 3Rとは、「もったいない」の考え方を大切にしながら、ごみを減らし(発生抑制:Reduce)、使えるものは繰り返し使い(再使用:Reuse)、ごみになったら資源として利用する(再生利用:Recycle)取組。
- ◆ 2004年6月のG8シーアイランドサミットで、小泉総理の提唱により、3Rイニシアティブに関する行動計画に合意。
- ◆ G8での合意を受け、2005年4月に東京で3Rイニシアティブ閣僚会合を開催し、3Rイニシアティブを正式に開始。閣僚会合では、国際協力の下で、3Rの世界的な推進のための取組を一層充実・強化していくことに合意。
- ◆ 我が国は、3Rイニシアティブ閣僚会合において、「3Rを通じた循環型社会の構築を国際的に推進するための日本の行動計画(通称:ゴミゼロ国際化行動計画)」を発表。

1. 3Rイニシアティブ全体の進め方

3 Rを通じた循環型社会の構築を国際的に推進するための日本の行動計画

— 略称：ゴミゼロ国際化行動計画 —

ゴミゼロ社会を国内で実現し、その経験を世界へ発信

- 循環型社会形成推進基本法に基づく定量的な目標の設定とレビュー
 - 国内における3Rの取組をさらに強化
- 例) 環境配慮設計・製造の推進、家庭ごみ減量化対策、国と地方公共団体が連携・協働した地域計画づくり、廃棄物の不法投棄・輸出対策、各リサイクル法の実施

開発途上国のゴミゼロ化を支援

- 開発途上国の循環型社会構築のための能力向上を支援
- 例) 国際機関と連携したエコプロダクツ展の開催、人材育成を通じた拠点づくり、リサイクル物資の輸送支援、国内外の民間団体の支援

ゴミゼロ社会を世界に広げるための国際協調を推進

- 様々な国・機関と連携してゴミゼロ化政策を展開
 - 例) ・ 3Rイニシアティブのフォローアップとして高級事務レベル会合の開催
 - ・ G8等の関係諸国・国際機関と連携を強化
 - ・ 特に東アジア等の地域レベルの取組として、東アジア循環型社会ビジョンの策定、有害廃棄物の不法輸出防止に関するアジア政府間ネットワークの強化
- アジアにおけるゴミゼロ化のための知識基盤・技術基盤を強化
 - 例) ・ ごみ処理に関する技術提供や制度構築を通じた能力向上のための支援、東アジア3R研究ネットワークの構築
- 情報発信・ネットワーク化通じてゴミゼロ化の行動を促進
 - 例) ・ 国際グリーン購入ネットワークと連携してグリーン購入を世界的に推進、3R優良事例のデータベースを構築、循環型社会構築のための政府、自治体、企業、NGO等の相互理解と行動を促進

1. 3Rイニシアティブ全体の進め方

3Rイニシアティブの具体化

今後、ゴミゼロ国際化行動計画に基づき、

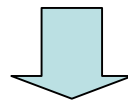
1. アジアにおける循環型社会の形成について、中央環境審議会で検討
2. 3Rを国際的に展開
 - ・ 3Rイニシアティブのフォローアップとして、高級事務レベル会合を2006年3月に東京で開催
 - ・ アジア各国との政策対話を通じた3R国別ビジョン／計画の策定支援
 - ・ 3R研究ネットワークの構築
3. 3Rを国内でも展開
 - ・ 循環型の地域計画づくりの推進と容器リサイクル法の見直し
 - ・ 事業者やNGOなどによる連携協力を推進する場づくりの支援
 - ・ エコ・コミュニティ事業の推進(継続)

2. アジアにおける循環型社会形成の検討

アジアにおける循環型社会形成の検討の必要性

(現在のアジアの状況)

- ◆ アジア各国では、急速な経済発展が、廃棄物発生量の増加及びそれに伴う環境汚染を招きかねない。
- ◆ 廃棄物を含めた循環資源は国際的に移動。国境を越えたりユースやリサイクルが可能となる一方で、輸入国における環境汚染も懸念されている。
- ◆ 天然資源や再生資源について、需要の増大を背景とした価格高騰や資源の逼迫が一部で起こりつつある。



- ◆ 廃棄物・リサイクルに関する日本の経験をアジアに発信
- ◆ アジア域内において環境保全の観点から適正な資源循環を確保するための具体的な方策を検討

環境汚染の未然防止に加え、廃棄物を含めた循環資源の健全な輸出入を確保し、環境と経済の好循環を実現

2. アジアにおける循環型社会形成の検討

中央環境審議会における検討

(検討項目)

- ・ 日本の廃棄物管理・リサイクルにおける経験
- ・ 中国や韓国等アジア諸国における廃棄物管理・リサイクルの現状と課題
- ・ 国際的な資源循環の実態とその的確な把握方策
- ・ 廃棄物等の性質に即した適正な国際資源循環の考え方とその確保の枠組み

(検討の進め方)

中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会の下に、「国際循環型社会形成と環境保全に関する専門委員会」が設置され、検討を進めることとなった。

(検討のスケジュール)

11月から検討を開始し、来年2月までに中間報告をとりまとめていただく予定。中間報告は、来年3月に開催する3Rイニシアティブ高級事務レベル会合での議論に反映される予定。

2. アジアにおける循環型社会形成の検討

中央環境審議会専門委員会の構成

今井 千郎	国際協力機構 国際協力専門員
植田 和弘	京都大学大学院経済学研究科 教授
小島 道一	日本貿易振興機構 アジア経済研究所 研究員
小早川 光郎	東京大学大学院法学政治学研究科 教授
酒井 伸一	京都大学環境保全センター 教授
崎田 裕子	環境ジャーナリスト
武内 和彦	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
○ 田中 勝	岡山大学大学院環境学研究科 教授
谷口 正次	国連大学ゼロエミッションフォーラム理事
寺園 淳	国立環境研究所 循環センター 主任研究員
中島 康雄	三菱電機(株) リビング・デジタルメディア事業本部役員理事 副本部長
細田 衛士	慶応義塾大学経済学部 教授
森口 祐一	国立環境研究所 循環型社会形成推進・廃棄物研究センター長
山田 政雄	(株)同和鉱業執行役員、エコビジネス&リサイクルカンパニープレジデント
○;委員長	(委員は追加・変更の可能性がある)

2. アジアにおける循環型社会形成の検討(参考)

廃棄物・リサイクルに関する日本の経験

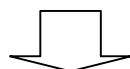
廃棄物を巡る以前の状況

- 「臭いものに蓋をする」その場しのぎの対応
- 「安かろう悪かろう」の処理現場は、悪貨が良貨を駆逐する状態

その結果として ↓

豊島に代表される大規模な不法投棄

PCBなど負の遺産の蓄積



廃棄物政策の大転換

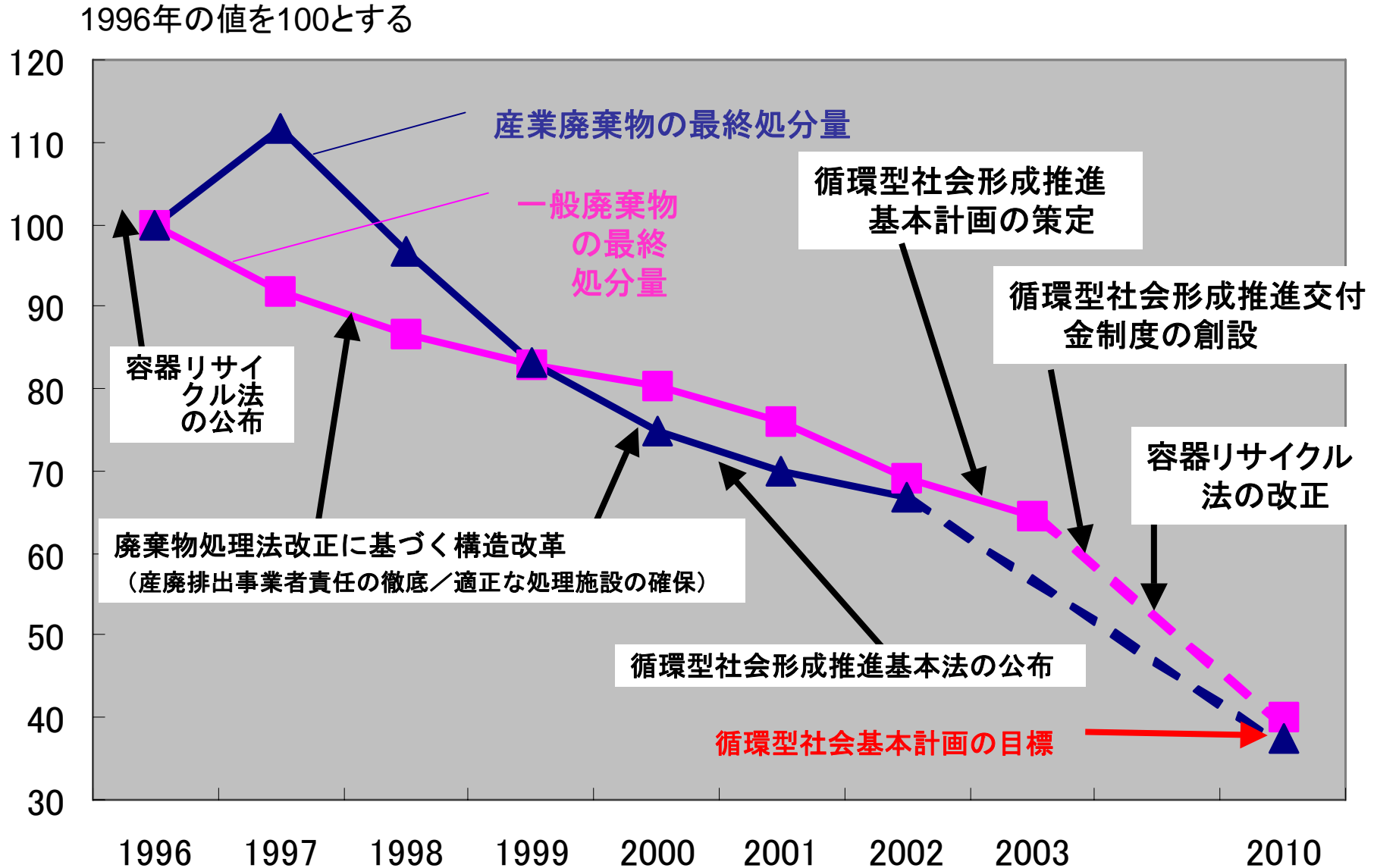
- ・ 廃棄物処理法の改正による排出事業者責任の強化
- ・ 容器リサイクル法等各種リサイクル法の制定と拡大生産者責任の導入
- ・ PCBなど負の遺産の処理／ダイオキシンの削減目標の達成
- ・ 循環型社会形成推進基本法及び循環型社会形成推進基本計画の策定

各主体による取組の進展

- 国と地方公共団体の協働・連携
- 民間企業の取組
- NGOやNPOの参画

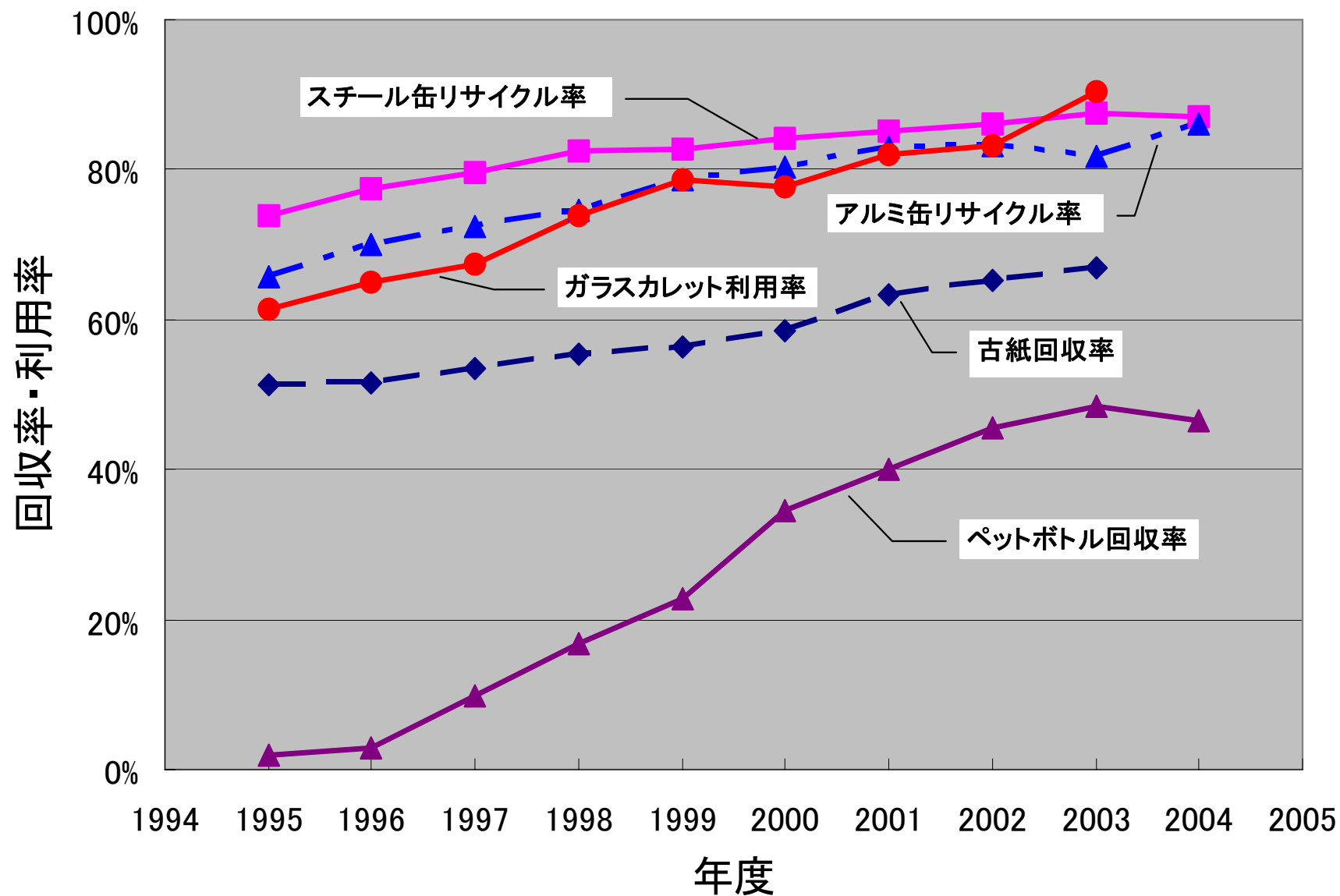
2. アジアにおける循環型社会形成の検討（参考）

最終処分量の推移



2. アジアにおける循環型社会形成の検討（参考）

リサイクルの進展



3. 3Rイニシアティブの国際的な展開

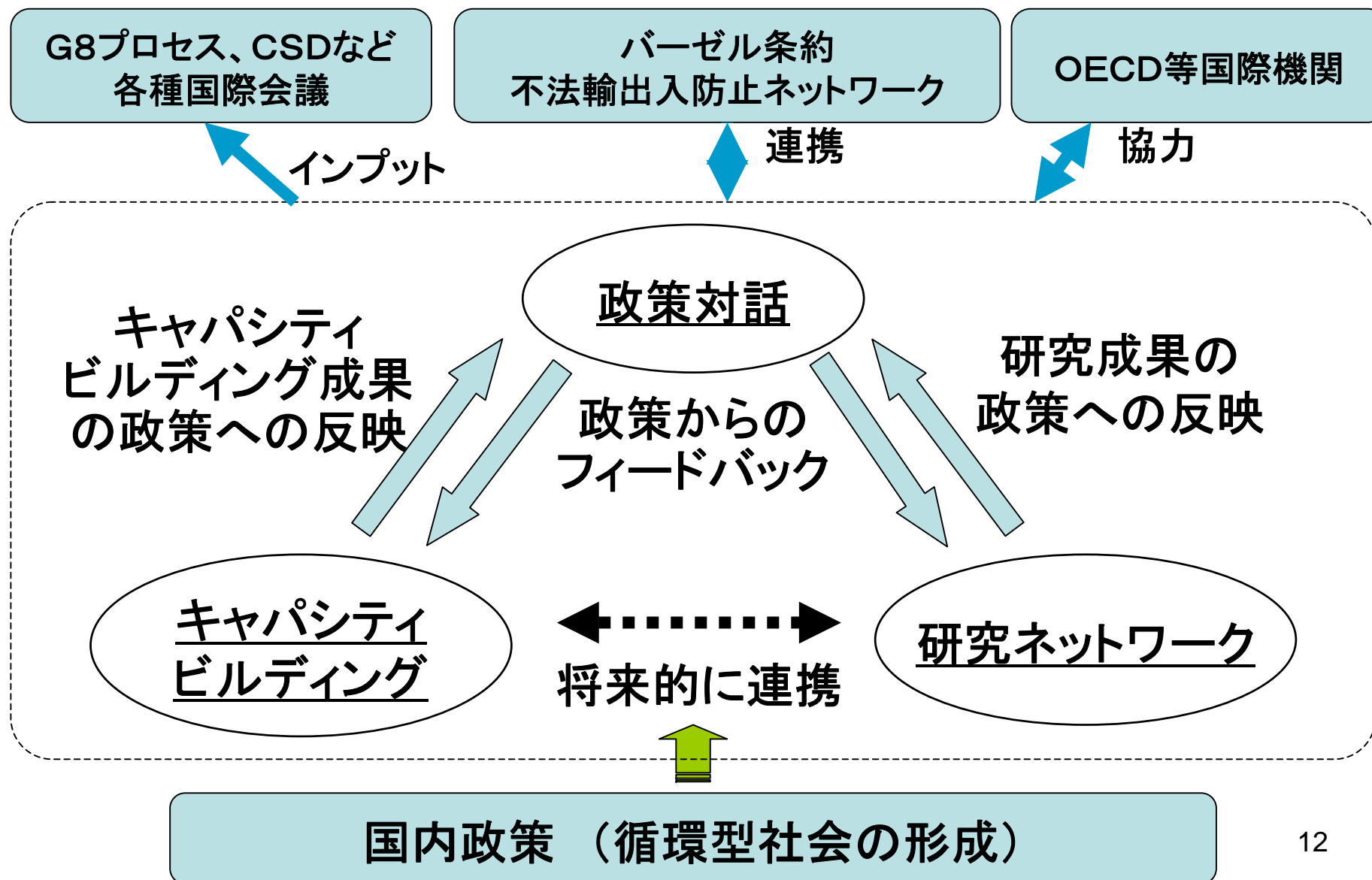
3Rイニシアティブの国際的な展開

- ◆ 3Rイニシアティブの国際的な展開として、
 1. 3Rに関する政策対話の実施や計画策定支援、
 2. 3Rに関するキャパシティビルディング、
 3. 3Rに関する研究ネットワークの構築を推進する。

- ◆ 3Rに関する国際的な事業は、地球環境戦略研究機関(IGES)を中心に実施。国内の廃棄物関係団体(例. 日本環境衛生センター)がこれを支援する。

3. 3Rイニシアティブの国際的な展開

3Rイニシアティブの国際的な展開(2)



3. 3Rイニシアティブの国際的な展開

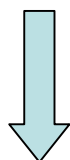
3Rに関する政策対話・計画策定支援

事前調査項目

(事前調査項目の例)

- ・廃棄物処理の状況
- ・廃棄物処理・リサイクルの体制
- ・日本との間の循環資源のマテリアルフロー
- ・日系リサイクラーの状況

政策対話



- ・法律,政策,技術面での支援
- ・実施体制まで見据えた意見交換

各国の計画/ビジョン

(計画/ビジョンの例)

- ・廃棄物循環利用,最終処分削減等の定量目標の設定
- ・廃製品の回収システム,処理スキームの骨格
- ・計画/ビジョンの推進体制/役割分担



3R推進のための具体的なプロジェクト形成・実施
(JICAやJBIC、アジア開発銀行等のスキームを利用)

IGESを通じ、UNEP
アジア太平洋地域
事務所、国連地域
開発センター等と連
携して実施

(候補国)
ベトナム、インドネシア
フィリピン、タイ
マレーシア、中国

3. 3Rイニシアティブの国際的な展開

3Rに関するキャパシティビルディング

1. 目的

主にアジア各国において、3R政策を担える中核的な人材・組織の育成

2. キャパシティビルディングの進め方

- 環境省は、個人を対象とした従来型の研修ではなく、3R国別計画策定や政策対話を通じて組織を対象としたキャパシティビルディングを実施
- JICAなど各種機関における既存の技術協力や研修と連携
→3Rキャパシティビルディング推進協議会(仮称)の設置・運営

3. キャパシティビルディングの具体例(平成17年度)

- JICA中国循環型経済訪日研修
- 南アフリカ共和国からの3Rに関する訪日・視察団対応

3. 3Rイニシアティブの国際的な展開

3R研究ネットワークの構築

1. 研究ネットワークの目的

国際的な情報交換・研究等の推進により、循環型社会推進のための知識基盤・技術基盤を構築

2. 研究ネットワークの機能

- 効率的な3R政策の立案と実施に必要となる科学的知見の蓄積
- 国際的なネットワークによる各国の3R政策推進の基盤
- 各国の3R政策を研究面から評価

3. 研究ネットワークの対象と拠点

ネットワークには、大学、公的研究機関の研究者に加え、政策担当者や民間事業者、環境NGOも参加し、共同研究の実施や研究成果の発表を通して、相互交流、課題の共有等を進める。また、ネットワーク活動の拠点を設ける。

このほか、廃棄物処理等科学研究費補助金に3Rイニシアティブ特別研究枠(5億円)を新設すべく、平成18年度予算として要求

3. 3Rイニシアティブの国際的な展開

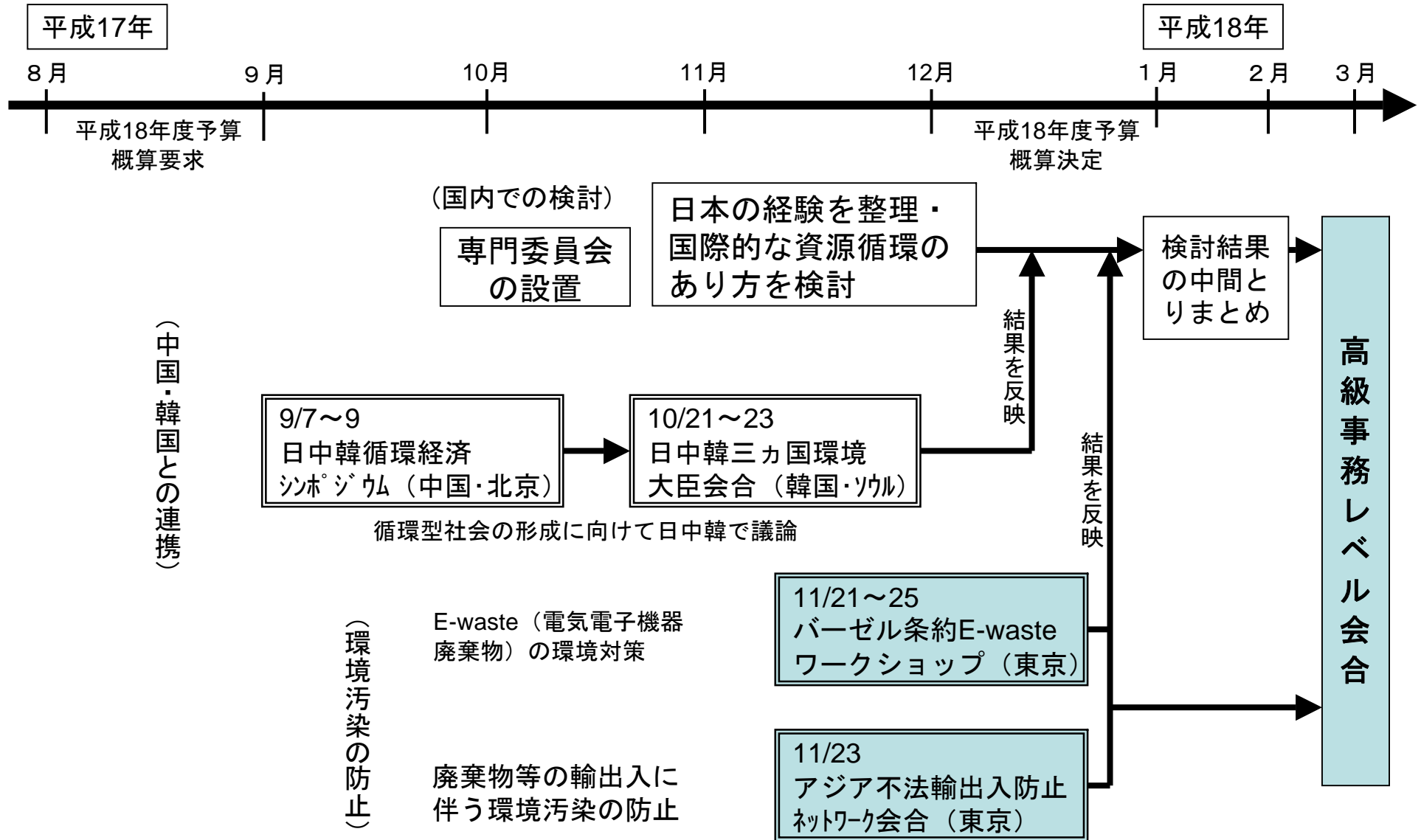
3Rイニシアティブ国際展開のスケジュール

◆ UNEPや国連地域開発センター(UNCARD)、地球環境戦略研究機関等と連携して、3Rイニシアティブを推進

2004	2005	2006	2007	2008
G8シーアイランドサミットで3Rの推進について合意	3Rイニシアティブ閣僚会合を開催(東京) G8グレンイーグルズサミットで3Rの推進を確認	高級事務レベル会合(東京) G8サミット(ロシアサンクトペテルブルグ)	G8サミット(ドイツ)	G8環境大臣会合 ↓ G8サミット(日本)
3Rイニシアティブを立ち上げ	3Rの取組を推進		3Rの成果のとりまとめ	

3. 3Rイニシアティブの国際的な展開

3 Rの国際展開に関するスケジュール (H17年度)



3. 3Rイニシアティブの国際的な展開（参考）

高級事務レベル会合の開催

1. 目的 3Rイニシアティブ閣僚会合での成果を実施に移す。
2. 時期 2006年3月6～8日
3. 場所 国際協力機構(JICA) 国際協力総合研修所(東京)
4. 招待国・国際機関(予定)
3Rイニシアティブ閣僚会合出席の20ヶ国及び関係国際機関
5. 主な議題
 - (1) 3Rの推進
 - (2) 物品等の国際流通に対する障壁の低減
 - (3) 先進国と開発途上国との協力
 - (4) 様々な関係者間の協力
 - (5) 科学技術の推進

3. 3Rイニシアティブの国際的な展開（参考）

E-wasteワークショップの開催

1. 目的

アジア太平洋地域におけるE-waste（電気電子機器廃棄物）の最小限化、資源の有効再利用及び環境上適正な処理を確実にするため、同地域の政府担当者や企業、NGO等が情報共有・意見交換する

2. 主催 バーゼル条約事務局、環境省、国立環境研究所

3. 時期 2005年11月21・22・24日

4. 場所 東京 三田共用会議所

5. 参加予定国

中国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、シンガポール、インド、インドネシア、カンボジア、日本、韓国、スリランカ、パプアニューギニア等

3. 3Rイニシアティブの国際的な展開（参考）

アジア廃棄物不法輸出入防止ネットワーク会合の開催

1. 目的

「アジア廃棄物不法輸出入防止ネットワーク」のワークショップとして、アジア各国におけるバーゼル条約上の権限ある当局（Competent Authority）が情報共有・意見交換する

2. 主催 環境省

3. 時期 2005年11月23日

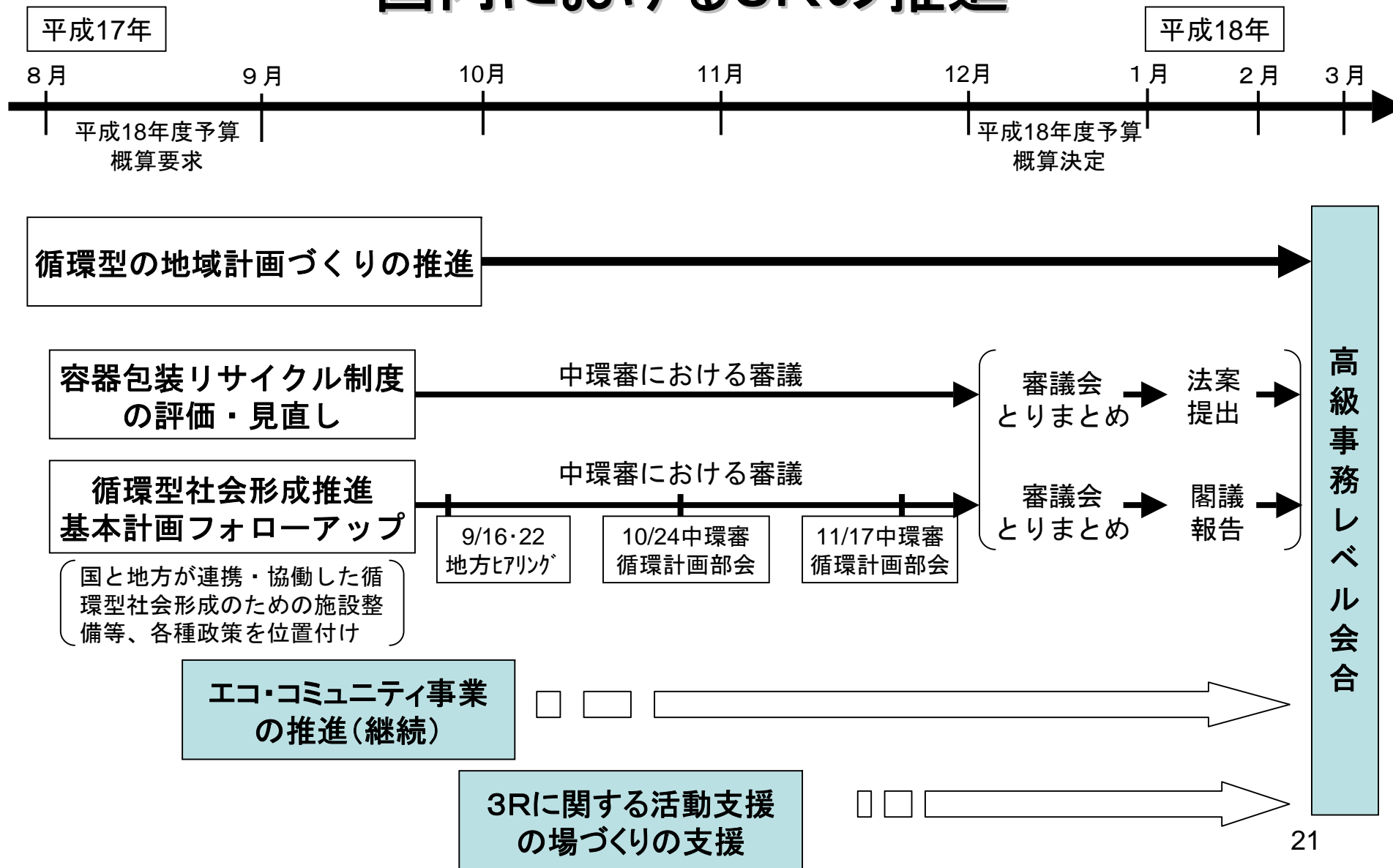
4. 場所 ホテルヴィラフォンテーヌ汐留

5. 参加予定者（去年の例）

韓国、香港、カンボジア、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムのバーゼル条約上の権限ある当局、及び北京、ジャカルタのバーゼル条約地域センターの担当者

4. 3Rイニシアティブの国内での推進

国内における3Rの推進



4. 3Rイニシアティブの国内での推進

3Rに関する活動の推進

- ◆ 3Rに関する先駆的な取組に対して支援する、エコ・コミュニティ事業の推進(継続)

(これまでの活動例)

- ・ 南九州における900ml茶びんの統一リユースシステムモデル事業

- ◆ また、3Rを実践していくためには、事業者、NGO、行政など関係者間の連携協力を推進していく場が必要。環境省は、この連携協力の場の形成を支援。

こうした連携協力による具体的な活動の候補として、

- ・ 3Rに関する普及啓発イベントや活動発表会の実施
- ・ もったいないバッグ集中キャンペーンの実施
- ・ 簡易包装に係る社会実験の検討

などが挙げられる。